

本日、山中 竹春 横浜市長が 山田 環境副大臣、自見 内閣府大臣政務官 へ提案・要望を行いました

本日（6月22日（木））、山中 竹春 横浜市長が、次のとおり国の制度及び予算に関する提案・要望を行いましたので、お知らせします。

1 日時・提案先・提案内容

日時	提案・要望先	主な提案・要望内容
6月22日（木） 14時30分 ～14時45分	環境省 山田 美樹 環境副大臣	<ul style="list-style-type: none"> 水素サプライチェーン構築や再生可能エネルギー等の導入拡大に向けた取組への支援 ペロブスカイト太陽電池等を活用した脱炭素社会の実現 GXを推進する海外インフラビジネスへの支援強化
同日 16時00分 ～16時15分	こども家庭庁 自見 はなこ 内閣府大臣政務官	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの医療費助成の充実 子育て・教育に係る経済的支援の拡充 医療的ケア児・者等への切れ目ない支援の充実

2 提案・要望の様子 ※写真データを希望される場合は、お問合せ先までご連絡ください。



（山田 環境副大臣）



（自見 内閣府大臣政務官）

3 山中 竹春 横浜市長コメント

このたび、環境省に「水素サプライチェーン構築や再生可能エネルギー等の導入拡大に向けた取組への支援」「ペロブスカイト太陽電池等を活用した脱炭素社会の実現」「GXを推進する海外インフラビジネスへの支援強化」について、提案・要望いたしました。

また、こども家庭庁に「子どもの医療費助成の充実」「子育て・教育に係る経済的支援の拡充」「医療的ケア児・者等への切れ目ない支援の充実」について、提案・要望いたしました。

山田 環境副大臣には、「横浜市が大都市における脱炭素先行地域のモデルとして、積極的に貢献していることに感謝しています。環境省としても関係省庁と連携して横浜市の取組みを支援していきたい。」とのコメントをいただきました。

また、自見 内閣府大臣政務官には「横浜市の提案をしっかりと受け止めていきます。子どもの医療費助成制度の構築に向けて、国と地方自治体が共同で検討を行う体制を作っていきたいと考えています。多子世帯への助成については、大きな課題として受け止めています。医療的ケア児については、横浜を先行事例として、何ができるか考えていきたい。」とのコメントをいただきました。

この度の提案・要望内容は「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」を実現し、都市の魅力を高めていくうえで必要不可欠なものです。

国や県、周辺自治体等と緊密に連携して、日本全体の課題解決と活力の創出に貢献していくうえでも、国において、このたびの提案・要望をぜひ実現していただきたいと思います。

※今回の提案・要望書は以下のサイトでご覧になれます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/bunken/yobo/2023teian.html>

お問合せ先

政策局大都市制度推進本部室広域行政課担当課長 柴 政紀 Tel 045-671-2109